

2019年

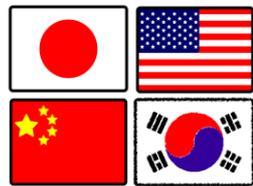


12月



CIR活動ページ

No.121



12歳のエマ



皆さんHello! 国際交流員のエマ・ウッドです。12月はもうすぐ終わりますが、霧島市の国際交流員として勤め始めてもう4ヶ月も経ったということにびっくりしています。2020年は西暦における10年サイクルの終わりの年ですね。みなさんは、10年前の自分と今の自分を比べて大きな違いがありますか？ 2010年という、そんなに昔のことのような気がしませんが、2010年当時、私はまだ12歳でした！そう考えるとやはり時間が経っていますね。

11月25日から11月30日の6日間、霧島市の交流都市であるマレーシアのマラッカ市から、セントフランシス学院の生徒8名と教員1名が霧島市を訪問しました。10回目となる今年の訪問は、学校交流やホームステイ等を行いました。最終日の夜、ホストファミリーと一緒にマレーシアの学生たちを見送りましたが、その時、日本語が喋れなかったマレーシアの学生の一人が、日本語で「また会おう！」と言ってきて、とても良い国際交流が出来たのだなということを実感しました。



11月20日、私にとって初めての料理講座である「国際料理キッチン」を開催しました。私の出身地の南カリフォルニア州サンディエゴ市はメキシコと国境を接しているため、南カリフォルニアの料理に強い影響を及ぼしています。今回は、メキシコ料理であり、サンディエゴ市の名物でもあるバハフィッシュユタコスを作りました。



12月8日、国際交流の集い「世界の味ランチ」が行われました。霧島市に住んでいる外国人と日本人が集まり、いろいろな国の料理を食べ比べながら交流しました。韓国の国際交流員のチャン・ハナさんは、日本のお茶のお点前をしました。参加者は、抹茶を飲みながらサンタクロースの和菓子をしていただき、茶道を楽しみました。

